

「職種が周産期予後に与える影響～JACSIS／JASTIS データ による後方視的検討～」に対するご協力のお願い

研究責任者 春日 義史
研究機関名 慶應義塾大学医学部
(所属) 産婦人科学教室

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる方々へ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、研究対象者の方々への新たな負担は一切ありません。また研究対象者の方々のプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない研究対象者の方々は、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

本研究の既存情報の提供機関の委託先のインターネット調査会社のパネルメンバーである全国の16-79 歳の方々のうち、調査期間の間に妊娠・出産に関わる方々が対象となります。

2 研究課題名

承認番号 20241175

研究課題名 職種が周産期予後に与える影響～JACSIS／JASTIS データによる後方視的検討～

3 研究組織

研究機関

慶應義塾大学医学部産婦人科学教室

研究責任者

専任講師 春日 義史

共同研究機関

なし

研究責任者

研究協力機関

なし

機関の長

既存試料・情報の提供機関

機関の長

東北大学大学院医学系研究科公衆衛生 准教授 田淵 貴大
学専攻公衆衛生学分野

4 本研究の目的、方法

就労妊産婦は、妊娠合併症や妊娠に伴う身体症状の発症や重症化を予防するため、身体的負荷の大きい職務を調整することが重要となる。しかしながら、妊産婦の職種と周産期予後に関するまとまった報告はなく、どの程度の負荷が妊婦にとって妥当なのか不明確な状況にあります。

そこで、本研究の目的は就労妊産婦の生活・健康・社会・経済活動の実態に関する調査を実施し、データ分析を行い、妊産婦の職種が周産期予後に与える影響を明らかにすることとしました。また、科学的根拠に基づいた「住民の健康と社会活動を守る」ための現実的な社会経済的救済策や健康増進策の立案につながる情報提供を行います。

本研究の方法は、既存情報の提供機関が実施しているインターネット調査研究プロジェクトである JACSIS (The Japan COVID-19 and Society Internet Survey) / JASTIS (The Japan Society and New Tobacco Internet Survey) 研究のデータベースを用いて、就労妊産婦の職種が周産期予後に与える影響を分析・評価します。JACSIS は、日本における新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 問題および社会全般に関する健康格差評価研究であり、JASTIS は日本における社会と新型タバコに関するインターネット調査研究プロジェクトであります。

5 協力をお願いする内容

委託先のインターネット調査会社により収集された既存の調査データを用いて、住民の生活・健康・社会・経済活動に関する分析を行います。なお、情報を提供していただく際には皆さんのお名前や年齢などの個人情報とは切り離れた情報として提供していただきます。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2027 年 03 月 31 日

7 外部への試料・情報の提供

当該項目は該当しません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、情報の利用や他の研究機関への提供の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

研究責任者:春日義史

所属:慶應義塾大学医学部産婦人科

連絡先:

〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35

03-5363-3819(産婦人科学教室直通)

以上